

登録コード	SSD07603	開講年度	2026					
授業題目	地層科学演習Ⅱ					担当教員	笠原 里恵	
英文授業名	Exercises in Geological Sciences Ⅱ					副担当		
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	不定期			
講義室						備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6SSカリ・理学, 2 5SSカリ・理学							
	【DP1】 人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観					⇔	演習をとおして, 人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観を習得できるようになる.	
	2 4SSカリ・理学							
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力					⇔	演習をとおして, さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力を習得できるようになる.	
	2 6SSカリ・理学, 2 5SSカリ・理学, 2 4SSカリ・理学							
	【DP5】 専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力					⇔	演習をとおして, 専門知識に基づいた見識を身に着け, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力を習得できるようになる.	
	2 6SSカリ・理学, 2 5SSカリ・理学							
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					⇔	演習をとおして, さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力を習得できるようになる.	
(2)授業の概要	研究テーマについて論文や書籍を読み、また自身や他者の研究内容について発表・討論を互いに重ねることで、深い専門知識と論理的に思考する能力を習得する。							
(3)授業のキーワード	コミュニケーション能力、問題発見・解決能力、分析能力							
(4)授業計画	基本的に週1回のセミナーを実施し、受講者が持ち回りで研究発表および討論を行う。							
(5)成績評価の方法	説得力のある発表、質疑応答ができるか、論理的思考能力、表現力の観点から総合的に評価する。							
(6)成績評価の基準	説得力のある発表、質疑応答ができるか、論理的思考能力、表現力の観点から総合的に評価する。 90%以上を秀、80-89%を優、70-79%を良、60-69%を可、60%未満を不可とする。							
(7)事前事後学習の内容	普段から積極的に専門分野の論文や書籍を調べ、読みこなして知識の習得を行うことが求められる。							
(8)履修上の注意	セミナーでの質疑応答に積極的に参加すること。							
(9)質問,相談への対応	随意時対応する。							
【教科書】	指定しない。							
【参考書】	指定しない。							